

患者の訴えを元に医師へ適切な情報提供

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は服薬指導時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

- ・80 代、女性
- ・肝細胞がん加療中
- ・便秘傾向あり酸化マグネシウムが追加となった

A さん



薬剤師が薬剤管理指導に訪室

患者 A さん

A さん、酸化マグネシウム錠が追加になりましたね。便を柔らかくしてくれるお薬ですが効果はどうですか？



便はちょうどいいくらいになったです。でもね、最近すごい喉が渇くんよ。なんでかしら？



そうだったのですね。喉が渇くようになったのはいつ頃からですか？



この薬（酸化マグネシウム）飲みだしてからよ。



酸化マグネシウム開始後に口渇が起きている…高マグネシウム血症の可能性はないだろうか？



検査値上、腎機能低下はないようだけど、ご高齢だし念のため血清 Mg 値を確認してもらった方がいいかもしれない。

医師へ提案

A さんですが、酸化マグネシウム開始後に口渇が出るようになったようです。ご高齢ですし、一度血清 Mg 値を確認していただけないでしょうか？

医師



そうですね、念のため測定しておきましょう。

提案通り、血清 Mg 値を測定されたところ 2.8mg/dL で基準値（1.9-2.5 mg/dL）より高値を示していた。酸化マグネシウムは中止となりアミティーザ[®]カプセル（ルビプロストン）へと変更となった。その後、血清 Mg 値も基準内まで低下し口渇も改善した。

患者の訴えに応じて適切に医師へ情報提供を行うことで安全な薬物治療へ貢献できた。